

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	広島県立安西高等学校	校長	新本 勝	担当者名	井上 美治
取組事例名		『学ぶことの意義を問う粘り強い指導』			
○	生徒指導に係る連携体制の確立	○	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話		主体的な活動を通じた絆づくり
<b>取組における育てたい資質・能力</b>					
<p>○将来の生活に活かせるよう自らの学びに向かう。</p> <p>○気持ちの良いあいさつや，その場にふさわしい正しい言葉遣いなどができる，コミュニケーション力を身に付ける。</p>					
<b>取組のねらい</b>					
<p>○「主体的な学び」をとおして，生徒の希望する進路を実現する。</p> <p>○安西高校に「来てよかった」という，「自校肯定感」を持つ生徒を育てる。</p>					
<b>取組の具体的内容</b>			<b>取組の創意工夫</b>		
<p>○教育相談体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談委員会(毎週水曜日1限)で不登校傾向や配慮を要する生徒等について把握し，対応を検討する。</li> </ul> <p>○生徒との対話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションを取りにくい生徒に対して放課後等の時間を活用し，担任を中心に生徒の思いを丁寧に聞きとる。</li> <li>・生徒本人が心を開くことのできる友人等にも協力を依頼し，サポート体制をとる。</li> </ul> <p>○保護者連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校外の同年代の少年と関わらないような環境をつくる。(警察，保護者との連携)</li> </ul> <p>○外部機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況によって警察，児童福祉施設等と連携した。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年主任を中心に学年の状況を把握，対応する。SSWの助言，SCとの連携など組織で対応する。</li> <li>・時間はかかっても生徒の話を中心に丁寧に聞き，生徒自身の気持ちを整理させる。</li> <li>・生徒の将来の夢，「なりたい自分」に近づけるために現在，どうすればよいかを考えさせる。</li> <li>・寄り添う，励ます言葉かけを意識した指導をする。</li> <li>・過去の成功事例から生徒の状況改善のためには保護者の協力が欠かせないことを伝える。</li> <li>・連携をとおして情報を収集し，学校としてできることを検討した。</li> </ul>		
<b>取組の成果と課題</b>					
<p>(1) コミュニケーションがうまく取れず，どうしてよいかわからなくなるという生徒に対し，カウンセリング・マインドをもって対話を行うなど学校全体で取り組むことができた。</p> <p>(2) 将来の夢や目標を設定させることで，生徒自身が「将来の生活に向けて今，何をすべきか」を意識し，行動することができるようになった。</p> <p>(3) 保護者との連携において個に寄り添った指導を充実させることで保護者自身も生徒に積極的に関わってもらえることができるようになった。これによって生徒の生活が安定し，生徒の表情が明るくなるなどの成果があった。</p> <p>(4) 教員によるカウンセリング・マインドをもった対話について，今後もスキルの向上を図る。</p>					